

U.S. Indicators

発表日: 2023年8月16日(水)

米国 強い7月小売売上高は消費の堅調持続を示す

～労働市場の逼迫、実質給与所得の増加等を背景にコア小売はしっかり～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治 (Tel: 050-5474-7493)

23年7月の小売・飲食サービス売上高は、前月比+0.7%（6月同+0.3%）と市場予想中央値（ブルームバーグ集計）の同+0.4%を上回ったうえ、5、6月合計で+0.3%上方修正された。自動車、家具、家電など耐久財が減少に転じた一方、衣服、ガソリンスタンドなど非耐久財が加速し高い伸びとなったほか、需要の強い飲食店が加速した。労働市場の逼迫、実質給与所得の増加、消費者マインドの安定等が続くなか、企業の販促強化が小売売上を押し上げた。また、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は、前月比+1.0%（6月同+0.2%）と市場予想中央値+0.4%を大幅に上回った（5、6月合計+0.1%上方修正）。さらに、自動車・ガソリン・建材・飲食店を除く小売・飲食サービス売上高は、前月比+1.0%（6月同+0.5%）と加速し、市場予想中央値+0.5%を大きく上回った（5、6月合計+0.2%上方修正）。

小売売上高の基調を判断するうえで重要なコア小売売上高（自動車・ガソリン・建材を除く小売・飲食サービス売上高）は、7月に前月比+1.1%（6月同+0.6%）と加速、3カ月連続で高い伸びとなった（5、6合計+0.3%上方修正）。コア小売売上高は、3カ月移動平均・3カ月前対比年率で7月に+7.0%（6月+3.1%）と加速、拡大モメンタムを強めた。四半期でも、7月は、4-6月期比年率+7.0%と4-6月期の前期比年率+3.1%（速報+2.2%）から加速し、高い伸びとなった。良好な労働市場、増加を続ける実質給与所得、安定した消費者マインド等を背景に、コア小売は比較的高い伸びを維持しており、個人消費の堅調持続を示している。今後8、9月のコア小売が販促の反動、ガソリン価格上昇などにより鈍化しても、7-9月期の個人消費は、6、7月の高い伸びを映じて前期比年率+3%台に再加速すると予想される。

7月の業態別の動向では、前月比で主要13業態のうち4業態（6月4業態）が縮小した一方、9業態（6月7業態）が拡大した。前月からの変化をみると、自動車・同部品、家具、家電、その他小売が減少に転じた。一方、建設資材、食品・飲料、ガソリンスタンド、スポーツ用品・本・趣味用品が増加に転じたほか、薬局、衣料品、百貨店など一般小売、無店舗小売、飲食店が加速した。

7月小売売上高（前月比+0.73%、6月同+0.31%）の主要13業態の前月比寄与度をみると、押し下げ寄与の業態は、大きい順に自動車・同部品（▲0.05%、同+0.14%）、家具（▲0.03%、同+0.02%）、家電（▲0.01%、同+0.01%）、その他小売り（▲0.01%、同+0.03%）となった。

一方、押し上げ寄与の業態は、大きい順に、無店舗小売（+0.31%、6月同+0.25%）、飲食店（+0.18%、同+0.10%）、食品・飲料（+0.10%、同▲0.04%）、百貨店を含む一般小売（+0.08%、同0.00%）、衣料品（+0.04%、同0.00%）、薬局（+0.04%、同+0.01%）、建設資材（+0.04%、同▲0.09%）、ガソリンスタンド（+0.03%、同▲0.10%）、スポーツ用品・本・趣味用品（+0.02%、同

▲0.01%) と続いた。

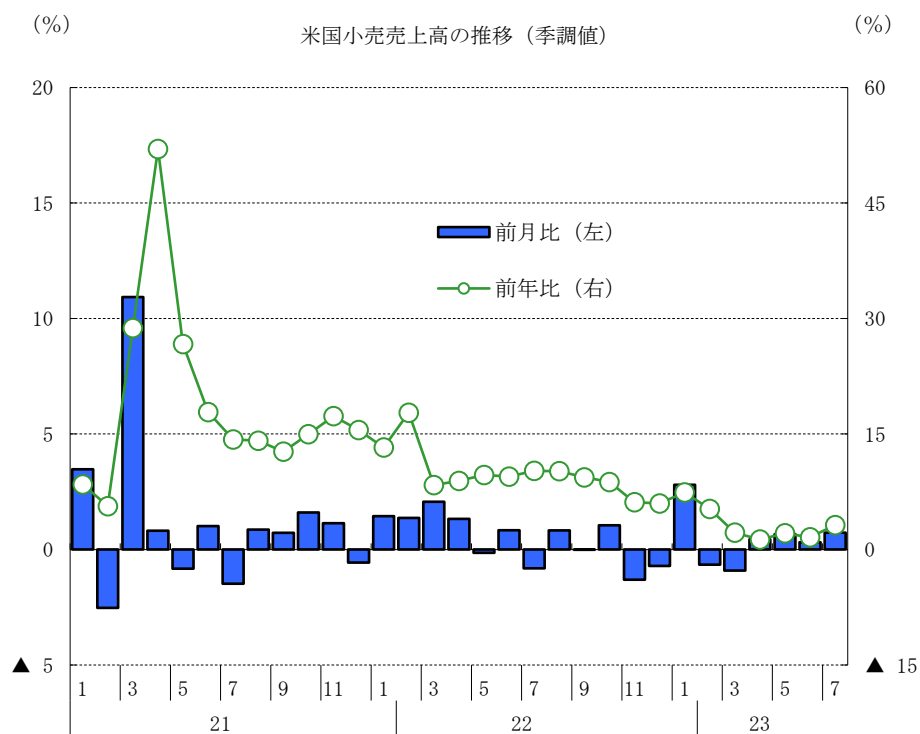
小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

		除く車	耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)			
			自動車	家具	家電	衣料品	ガソリン			
22/07	▲0.8	(+10.2)	▲0.6	▲1.0	▲1.7	+0.0	+2.0	▲0.8	▲2.0	▲3.2
22/08	+0.8	(+10.2)	+0.3	+2.3	+3.1	+0.3	▲0.6	▲0.2	+1.5	▲6.5
22/09	▲0.0	(+9.4)	+0.0	▲0.3	▲0.3	▲1.1	▲0.1	▲0.0	+0.5	▲4.2
22/10	+1.0	(+8.8)	+1.0	+1.3	+1.4	+1.6	▲0.4	+0.8	+0.1	+3.8
22/11	▲1.3	(+6.1)	▲1.1	▲2.9	▲2.2	▲2.4	▲11.8	▲0.8	▲0.5	▲2.3
22/12	▲0.7	(+6.0)	▲0.5	▲1.1	▲1.7	▲1.8	▲0.6	▲0.6	▲0.5	▲5.6
23/01	+2.8	(+7.4)	+1.9	+5.7	+6.8	+10.2	+12.4	+1.0	+3.5	▲0.4
23/02	▲0.7	(+5.3)	▲0.5	▲1.1	▲1.1	▲6.5	▲0.2	▲0.1	▲2.5	▲1.8
23/03	▲0.9	(+2.2)	▲0.8	▲1.8	▲1.3	▲2.5	▲0.5	▲0.7	▲1.3	▲0.9
23/04	+0.4	(+1.3)	+0.3	+0.4	+0.9	▲2.2	▲0.9	+0.4	+0.1	▲1.0
23/05	+0.7	(+2.1)	+0.4	+1.5	+1.7	▲0.8	+1.5	+0.1	+0.2	▲2.9
23/06	+0.3	(+1.6)	+0.2	+0.3	+0.7	+1.4	+0.7	+0.2	▲0.0	▲1.3
23/07	+0.7	(+3.2)	+1.0	▲0.2	▲0.3	▲1.8	▲1.3	+1.0	+1.0	+0.4

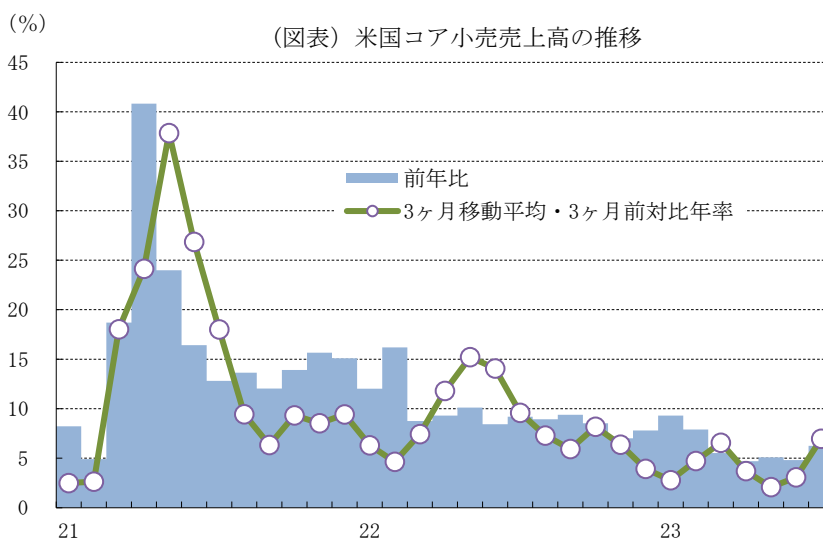
(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

*1: 耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上合計。

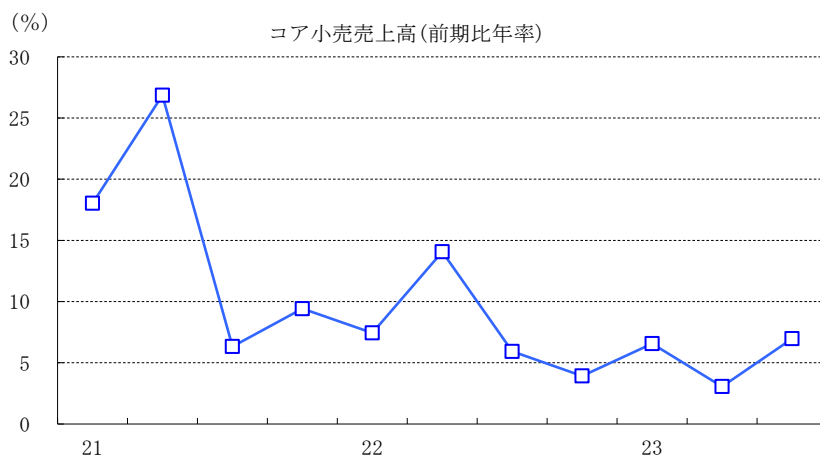
*2: 非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。



(出所) 米商務省



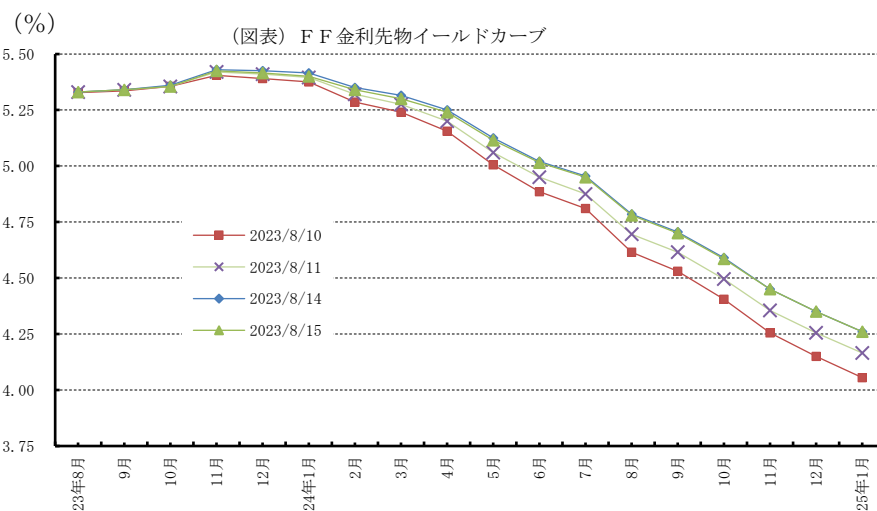
(出所) 米商務省

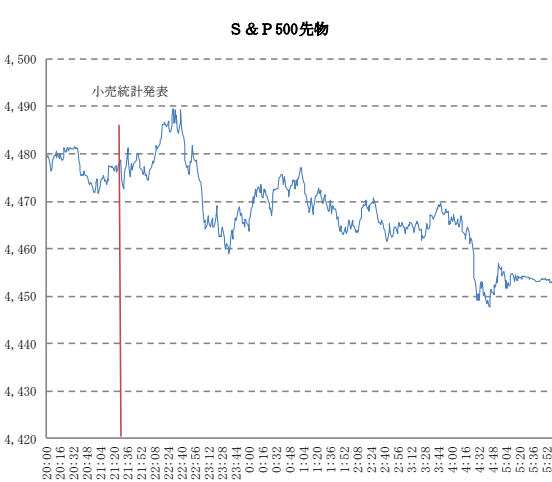
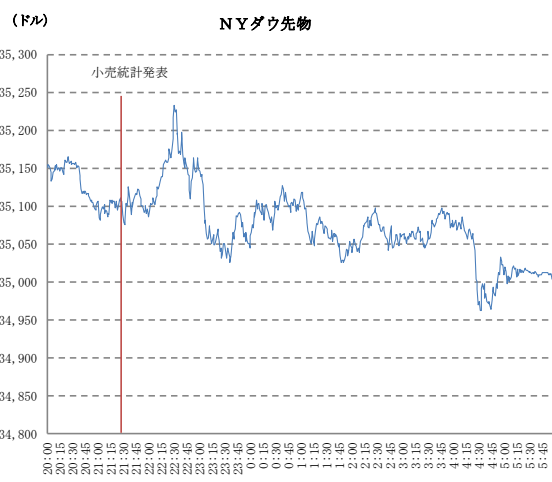
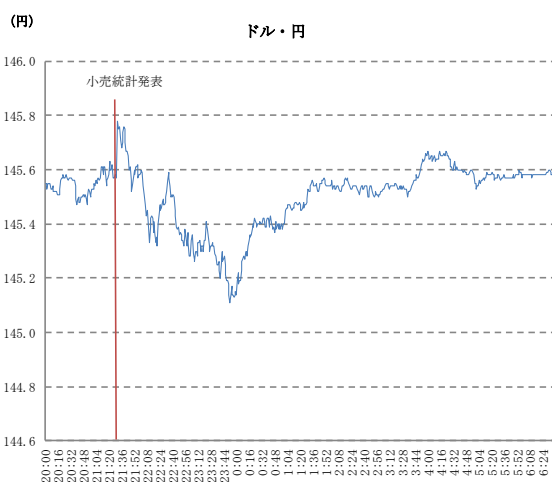


(出所) 米商務省データより作成。

(注) コア小売=建設資材・ガソリン・自動車を除いた小売売上高

(四半期)





本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

